

公開講座一覧(平成27年度)

事業名	実施実績
<p>月例文化講座</p>	<p>年間テーマ:「文学を旅する」 講師:文学部国文学科 教員 会場:本学4号館431教室</p> <p><講座名> ・万葉集、旅の歌 ・『源氏物語』光源氏の恋愛の世界を旅する ・平家物語を「馬」から読む ・旅人の文学 ― 熊野街道を行く ― ・文学を旅するには? ・丘処機『西遊記』を読む ―チンギス・ハーンと会った道士― ・跋文にみる蘇軾</p> <p>来場者:のべ794名</p> <p><講師> 教授 大島 信生 准教授 中川 照将 教授 深津 睦夫 教授 高倉 一紀 准教授 岡野 裕行 准教授 松下 道信 准教授 上小倉一志</p>
<p>古文書講座 (6月～11月)</p>	<p>テーマ:「古代文書を読む」 :「近世文書を読む」 来場者:のべ110名</p>
<p>神道博物館教養講座 (5月～11月)</p>	<p>年間テーマ:「学芸員が語る三重の文化と魅力Ⅱ」 <講座名> ・里山の成立と人のくらし ・川喜田半泥子と石水博物館―半泥子が三重にのこしたもの― ・産業振興と博物館 ・1時間で巡る亀山市の歴史旅行―古文書・古記録・絵図との出会い― 来場者:のべ156名</p>
<p>史料編纂所 公開講座 (9月26日)</p>	<p>テーマ:『古代史書の世界』 来場者:65名</p>
<p>現代日本塾 (6月～10月)</p>	<p><講座名> ・社会人として成果を出すということ ・日本語の国際化・日本語と日本文化について ・人生60年では死ねない現代社会 ・伊勢に願いを ・私と保育所と地域社会 来場者:のべ627名</p>
<p>研究開発推進センター 神道研究所公開学術講演会 (11月12日) 公開学術シンポジウム (12月19日)</p>	<p>テーマ:中世に於ける公家衆の家名伝襲と家伝文書・家領の継承 来場者:97名</p> <p>テーマ:桓武天皇とその時代 ①「桓武天皇の御生涯と祭祀」 ②「桓武天皇と『続日本紀』」 ③「『日本後紀』の桓武天皇紀」 来場者:47名</p>

事業名	実施実績
共催講座	<p>(1)三重大学・皇學館大学シンポジウム テーマ:史跡公園「さいくう平安の杜」復元建物完成記念 「桓武天皇と齋宮」 ①演題:「文献史学から見た齋宮—奈良から平安へ—」 ②演題:「考古学から見た齋宮—奈良から平安へ—」 ③シンポジウム:「聖地熊野—その祈り—」 来場者:110名</p> <p>(2)「みえアカデミックセミナー 2015」(三重県生涯学習センター主催) <講座名>・戦国貴族の生き残り戦略 来場者:191名</p> <p>(3)「みえアカデミックセミナー移動講座」(三重県生涯学習センター主催) <講座名>・熊野権現と伊勢神宮 来場者:96名</p> <p>(4)名張市教育委員会と共催の「ふるさと講座」 <講座名> ・伊賀の古墳文化と雄略天皇朝 ・名張の自然環境 来場者のべ:209名</p> <p>(5)近鉄文化サロン阿倍野と本学共催講座 <講座名> ・神道と仏教—神社仏閣に見る神仏習合と神仏分離—(12回講座) ・『古事記』(上巻)を読む(12回講座) ・1日・短期講習会 ①古文書を読もう—大坂落城を伝える細川忠興の書状— ②記紀・風土記の「大きな神」「小さな神」 ③老子伝を読む ④「まつりの心」と「おもてなし」 ⑤大阪府の万葉集(1) ⑥宮崎アニメから神道を考える(2)～ゆるやかにつながる神々～ ⑦日本書紀を読む—仲哀天皇紀・神功皇后紀— ⑧「古文書を読もう—関ヶ原2ヶ月前の家康書状—」 ⑨『伊吉連博徳書(いきのむらじはかこのふみ)』 —初期遣唐使の記録— ⑩『莊子』を読む ⑪伊勢神宮と熊野権現 ⑫原文で読む『日本書紀』神代巻 —天照大神の出生— ⑬原文で読む『日本書紀』神代巻 —月夜見尊(つくよみのみこと)と保食神(うけもちのかみ)— ⑭大阪府の万葉集(2) ⑮原文で読む『日本書紀』神代巻 —天照大神と素戔嗚尊(すさのおのみこと)— 来場者:のべ872名</p> <p>(6)NIPPONの原点を学ぶ三重の魅力発信セミナー 三重県生涯学習センターと本学共催 <講座名>うまし国伊勢志摩の神話と日本文化 来場者:のべ50名</p>